

報道機関各位



労働生産性の国際比較・2009 年版

**日本の労働生産性は OECD30 力国中第 20 位、G7 最下位
製造業は OECD25 力国中第 14 位、過去最低の順位に**

財団法人 日本生産性本部

日本生産性本部(理事長：谷口恒明)は 2009 年版「労働生産性の国際比較」をまとめた。OECD のデータによる OECD 加盟国間の比較とともに、世界銀行などのデータによる OECD 以外の国々の比較も行っている。主な結果は以下の通り。

1. 日本の労働生産性(2008 年)は先進 7 力国で最下位、OECD 加盟 30 力国中第 20 位。

2008 年の日本の労働生産性(就業者 1 人当たり名目付加価値)は、**68,219 ドル**(795 万円 / 購買力平価換算)で **OECD 加盟 30 力国中第 20 位、先進 7 力国では最下位**(図 1)、2007 年の 66,960 ドルより 1,259 ドル (1.9%) 向上したが、**順位は変わっていない**。第 1 位はルクセンブルク(116,627 ドル / 1,359 万円)、第 2 位はノルウェー(110,347 ドル / 1,286 万円)。米国の労働生産性を 100 とすると日本は 69。

2. 世界同時不況の影響を受け、米国を除いた先進 6 力国の労働生産性上昇率はマイナス。

2008 年の実質労働生産性対前年伸び率は、**日本は - 0.28% で、先進 7 力国中第 4 位**、OECD 加盟 30 力国中第 15 位(図 2)。世界同時不況の影響を受けて、**伸び率は 1998 年以来のマイナスとなった**。OECD 平均もマイナスとなった。米国は 0.89% と大きく減速したが、先進 7 力国中唯一プラスの生産性上昇率を維持した(図 3)。

3. 日本の製造業の労働生産性(2007 年)は OECD25 力国中第 14 位。ドイツに抜かれ順位を 1 つ下げる。

日本の製造業の労働生産性水準(2007 年)は 80,400 ドル(947 万円)で、OECD 加盟国でデータが得られた 25 力国中第 14 位(図 4)。**ドイツに抜かれ、2006 年の第 13 位から 1 つ順位を下げた**。先進 7 力国でみると**米国、フランス、ドイツに次ぐ第 4 位**となっている。米国製造業の労働生産性を 100 とすると日本の労働生産性は 79。

4. サービス業の労働生産性は、日本を含め G7 各国も停滞続く。

日本のサービス業の実質労働生産性指数は前年比 1.61% の伸び(2007 年)にとどまった。**G7 各国のサービス業(英国のみ労働生産性は計測できず)も前年比 - 1.6 ~ 0.6% と停滞傾向が続いている**(図 7・8)。なお、日本の製造業の実質労働生産性指数は前年比 5.55% の伸びとなり、サービス業との生産性格差は拡大傾向にある。

5. BRICs の労働生産性(2007 年)はロシアの 53 位が最高。ブラジルが 66 位、中国は 80 位。

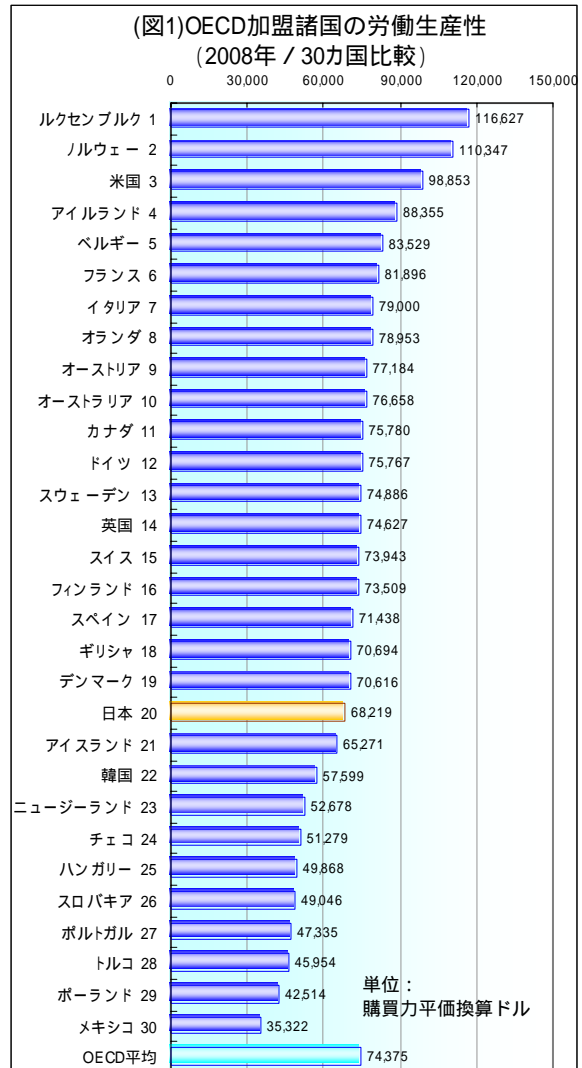
世界銀行のデータで見ると、日本の労働生産性は 67,018 ドルで第 26 位。BRICs 各国では、**ロシアが 29,580 ドルで 53 位が最高**。**ブラジルは 20,281 ドルで 66 位、中国は 9,218 ドルで 80 位**(インドの労働生産性は計測できず)。2003 ~ 2007 年の**実質労働生産性伸び率では中国が 10.33% で第 4 位**に入り、**ロシアは 5.65% で第 20 位、ブラジルは 1.42% で 62 位**と低い伸びにとどまっている(図 9)。

**【お問合せ先】 財団法人 日本生産性本部 生産性総合研究センター(総合企画部)
担当：村越 正児 TEL.03-3409-1137 FAX.03-3409-2810**

(1) 2008年の日本の労働生産性(就業者1人当たり付加価値)は、**68,219ドル**(795万円/購買力平価換算)で **OECD加盟30カ国中第20位、先進7カ国では最下位**。日本の労働生産性は2007年の66,960ドルより1,259ドル(1.9%)向上したが、**順位は変わっていない**。第1位はルクセンブルク(116,627ドル/1,359万円)、第2位はノルウェー(110,347ドル/1,286万円)。米国の労働生産性を100とすると日本は69(本文 p.11)。

2008年の購買力平価で評価した日本のGDP労働生産性は**68,219ドル**(795万円)で、**OECD加盟30カ国中第20位**であった(図1)。第1位は、ルクセンブルクの116,627ドル(1,359万円)で1970年以降39年連続。第2位はノルウェー(110,347ドル・1,286万円)、第3位は米国(98,853ドル・1,152万円)である。国際的にみると日本の労働生産性はデンマーク、アイスランドなどとほぼ同じ水準である。米国の労働生産性水準を100とすると日本は69程度で、この比率は2000年以降ほとんど変化が無い。

2008年の日本のGDP労働生産性は、付加価値の減少がマイナス要因になったものの、就業者数の微減と為替レートの増価を背景に、**2007年より1,259ドル(1.9%)向上している**。ただし、2008年の世界同時不況の影響により、2006年から2007年の名目労働生産性上昇率4.6%を大きく下回った(名目労働生産性は前年比1.9%上昇したが、実質労働生産性上昇率は前年比-0.28%となった(本文12ページ参照))。OECD加盟30カ国中の順位は2006年以来、変化がない。**先進7カ国の中では、1994年以降、15年連続で最下位**であった。



OECDでは、GDPを含む各種データの修正を随時行っている。修正は過去に遡及してなされることもあるため、本調査実施にあたり、最新データによる再計測を行っている。そのため、本年以前の計数や順位が昨年版と一致しない場合がある。3P以降の分析についても同様である。

この調査は、OECDや世界銀行などのデータに基づいて世界各国の国民1人当たり国内総生産(GDP per capita)、国民経済生産性(就業者1人当たり国内総生産=GDP労働生産性)、先進7カ国の産業別・実質付加価値労働生産性、製造業の労働生産性水準などを比較したものである。本調査ではGDP労働生産性を測定するにあたり、国別の付加価値をドルベースに換算して比較しているが、その際の各国の通貨の評価には名目購買力平価を用いている。なお、購買力平価はOECDが1ドル=約116.53円(2008年)、世界銀行が1ドル=約120.14円(2007年)である。

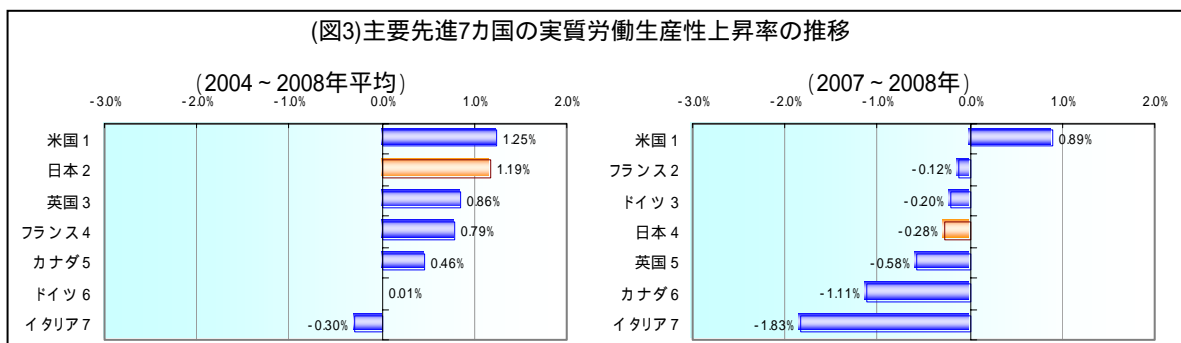
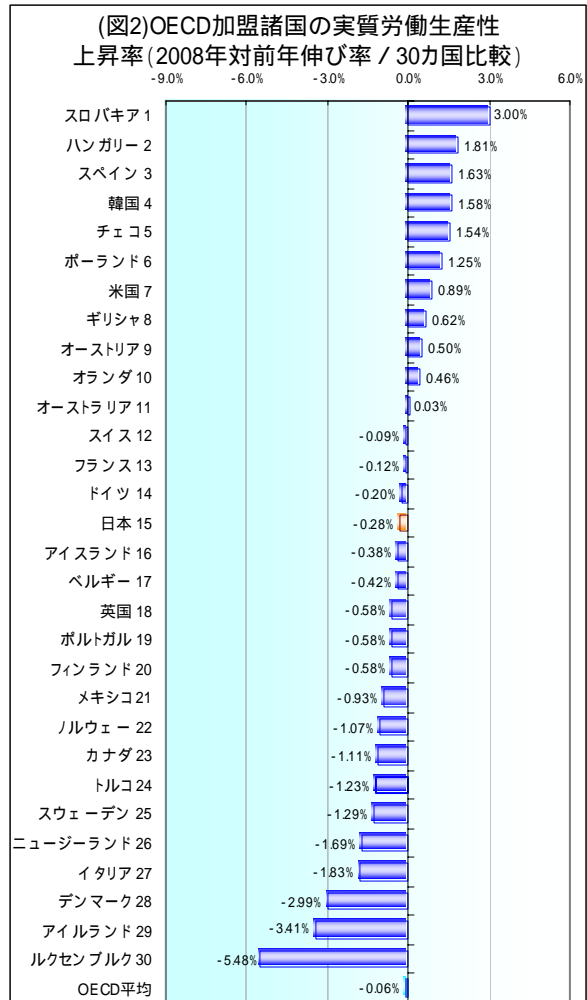
購買力平価とは、各国の物価水準の差を調整して購買力が等しくなるよう、ある組み合わせの商品を一定量購入するのに必要な通貨の比率を表したもの。例えばマクドナルドのハンバーガーを例にとると、質量とも同じものが米国で1ドル、日本で100円で売られていれば、ハンバーガーの購買力平価は1ドル=100円となる。このような計測をGDPに対応すると考えられる商品群に適応して算出したものである。

(2) 2008年の実質労働生産性対前年伸び率は、日本は **-0.28%** で、**先進7カ国中第4位**、OECD加盟30カ国中第15位(図2)。世界同時不況の影響を受けて、**伸び率は1998年以來のマイナスになった**。OECD平均もマイナスとなった。米国は0.89%と大きく減速したが、先進7カ国で唯一プラスの生産性上昇率を維持した(図3)。(本文p.14)

OECD加盟国の2008年実質労働生産性対前年伸び率は、**日本は30カ国中第15位、先進7カ国では米国、フランス、ドイツに次ぐ第4位**だった(図2・3)。**2008年の日本の実質労働生産性対前年伸び率は -0.28%**。世界的な金融危機の影響を受け、同時期の先進7カ国はすべて実質労働生産性上昇率を低下させており、日本も**1998年以來のマイナス成長を記録した**。OECD平均も **-0.06%** となった。

米国の上昇率も大きく減速したが、先進7カ国中唯一プラスの伸びを維持している(0.89%)。先進7カ国で最も伸びが低下したのはイタリア(-1.83%)となった。

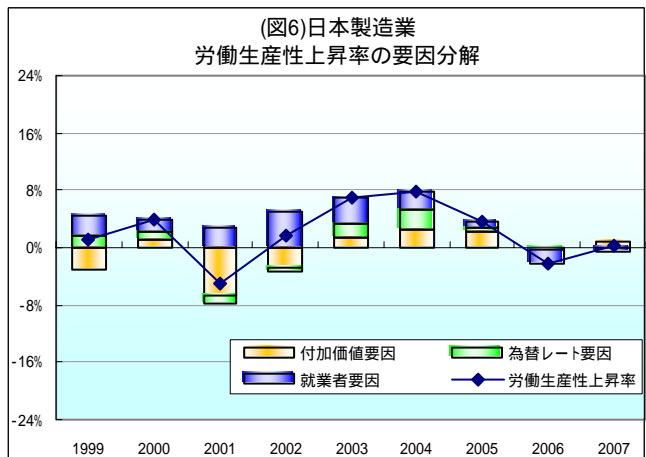
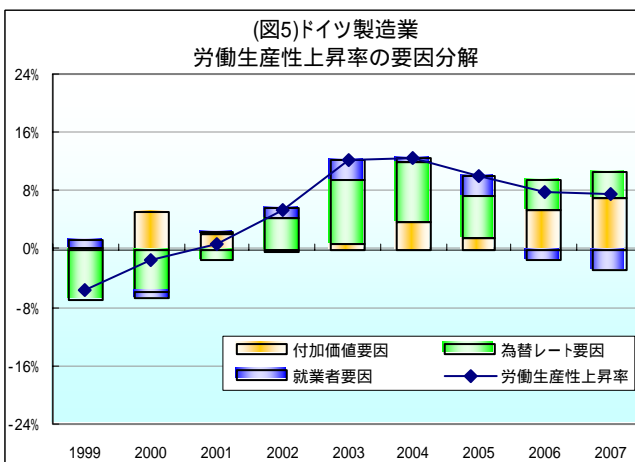
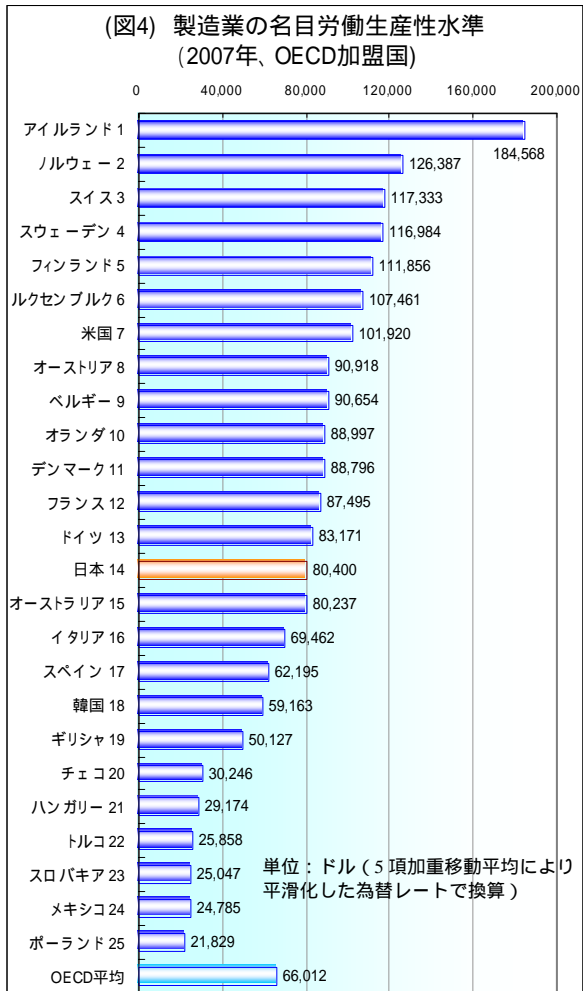
なお、OECD加盟国の中で2008年の労働生産性上昇率の最も低かったのはルクセンブルク(-5.48%)で、アイルランド(-3.41%)、デンマーク(-2.99%)が続いている。他方、スロバキア、ハンガリー、チェコなど東欧諸国では、比較的高い労働生産性伸び率を実現した。



(3) 日本の製造業の労働生産性水準(2007年)は80,400ドル(947万円)で、OECD加盟国でデータが得られた25カ国中第14位(図4)。ドイツに抜かれ、2006年の第13位から1つ順位を下げた。先進7カ国でみると米国、フランス、ドイツに次ぐ第4位となっている。米国製造業の労働生産性水準を100とすると日本の労働生産性は79である。(本文p.33)

製造業の名目付加価値労働生産性を計測したところ、OECD加盟国の中でデータが得られた25カ国の中ではアイルランド(184,568ドル/2,173万円)が最も高かった。第2位はノルウェーの126,387ドル(1,488万円)、第3位はスイスの117,333ドル(1,382万円)であった(図4)。日本は80,400ドル(947万円)で、第14位になっている。先進7カ国では米国、フランス、ドイツに次いで第4位である(加重移動平均により平滑化した為替レートベース)。日本はドイツに抜かれ、昨年の第13位から2007年は1つ順位を下げた。現在の手法による製造業の比較は今回で5回目になるが、14位は過去最低の順位である。

2007年は、ドイツは付加価値額の増加により製造業の労働生産性を上昇させたことが大きな要因となり、上位にランクされた(図5)。日本は製造業の付加価値額と為替レートが低調であったことに加え、就業者数もやや増加したことから、労働生産性上昇率は0.3%にとどまった(図6)。

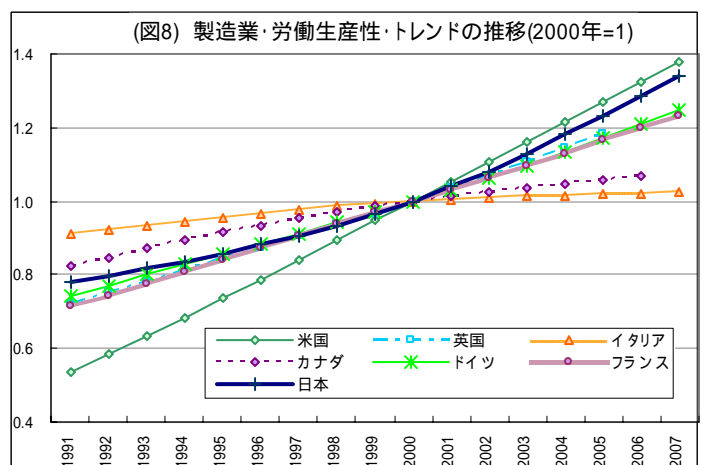
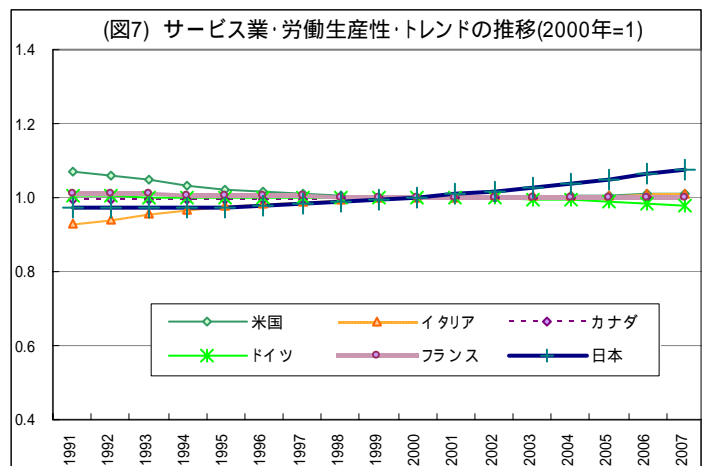


(4) 日本のサービス業の実質労働生産性指数は前年比 1.61%の伸び(2007 年)にとどまった。G7 各国のサービス業(英国のみ労働生産性は計測できず)も前年比 - 1.6 ~ 0.6%と停滞傾向が続いている(図7・8)。なお、日本の製造業の実質労働生産性指数は前年比 5.55%の伸びとなり、サービス業との生産性格差は拡大傾向にある。(本文 p.16)

日本のサービス業の実質労働生産性指数は前年比1.61%の伸び(2007年)にとどまった。一方、日本の製造業の実質労働生産性指数は前年比5.55%の伸び(2007年)となった。1991～2007年までの労働生産性指数からトレンド系列を抽出すると、サービス業のトレンドの伸び率は年率平均0.64%にとどまり、ほとんど生産性の向上がみられない。同期間に日本の製造業のトレンドは、年率平均3.45%の伸びを記録しており、サービス業と製造業の労働生産性格差が拡大し続けたことがうかがえる(図7・8)。

G7各国のサービス業(英国のみ労働生産性を計測できず)の実質労働生産性指数(原系列)の前年比伸び率(2007年)をみるとプラス成長したのは、日本(1.61%)、イタリア(0.63%)、ドイツ(0.04%)だけであり、フランス(- 0.20%)、米国(- 0.37%)、カナダ(- 1.57%)は労働生産性を低下させている。

また、G7各国の製造業の実質労働生産性指数(原系列)では、日本の前年比5.55%の上昇率が最高で、米国(3.61%)、ドイツ(2.99%)、フランス(2.22%)、イタリア(0.10%)がこれに続いている。他方、カナダ(- 0.24%)と英国(- 1.82%)の対前年上昇率はマイナスとなった。



サービス業の内訳は下記の通り：

「行政・国防、強制社会保障」「教育」「保健衛生・社会事業」「その他の社会・個人サービス」「雇用者のいる個人世帯」「治外法権機関・団体」。ただし、日本のみ「飲食業」を含む。

本分析では、まず各国の産業別実質労働生産性を計測し、指数化した後、トレンド系列と循環系列の分離を行った。図7・8はこのトレンド系列を表したものである。

データの欠損により、英国・サービス業の労働生産性は算出できていない。英国・製造業の労働生産性は1991～2005年までである。カナダの労働生産性は製造業・サービス業ともに1991～2006年までである。

(5) 世界銀行のデータでみると、日本の労働生産性は67,018ドルで第26位。BRICs各国ではロシアの53位(29,580ドル)が最高。ブラジルは20,281ドルで66位、中国は9,218ドルで80位(インドの労働生産性はデータ不備で計測できなかった)。2003～2007年の実質労働生産性伸び率では中国が10.33%で第4位に入り、ロシアは5.65%で第20位、ブラジルは1.42%で62位と低い伸びにとどまっている。(本文p.26)

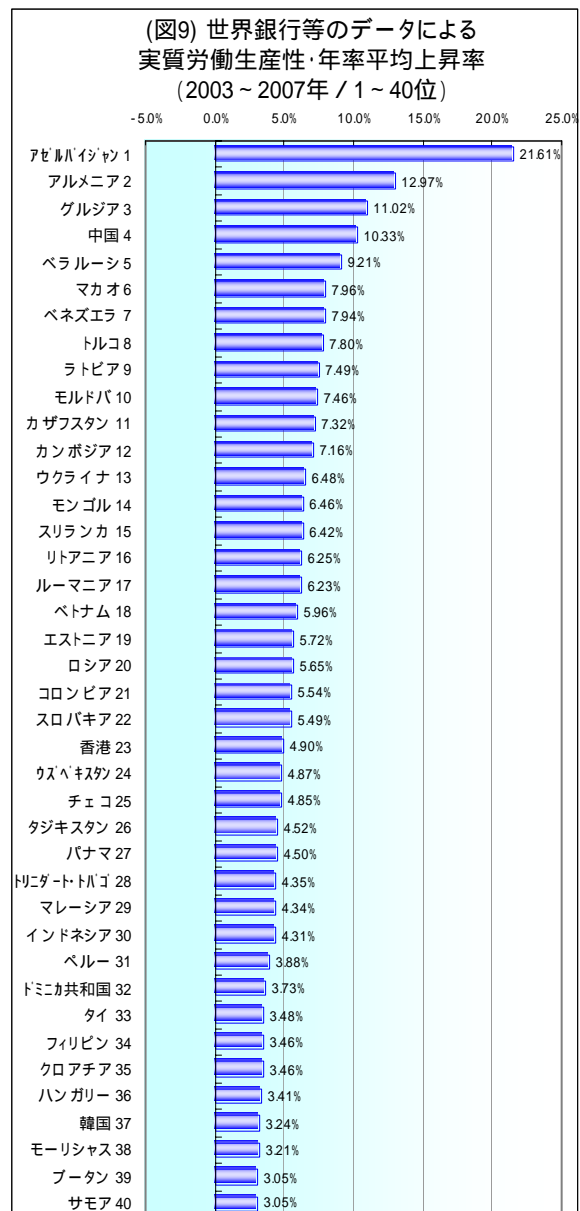
世界銀行等のデータから作成したランキングをみると、日本の労働生産性(67,018ドル)は昨年と変わらず26位となった。BRICs諸国では、ロシアの労働生産性が29,580ドルで53位に入ったのが最高位である。ブラジルは20,281ドルで66位、中国は9,218ドルで80位となった。インドは就業者数データが得られなかったため計測できなかった。ブルネイ、マカオ、シンガポール、香港、イスラエル、サウジアラビアなど、非OECD加盟国・地域が上位に顔を出している(表1)。

2003～2007年の実質労働生産性上昇率は、第1位がアゼルバイジャンの21.61%(年率平均。以下同じ)。中国が10.33%で第4位に入った。また、ロシアは5.65%で第20位となった(図9)。

(表1)世界銀行等のデータによる世界各国の労働生産性(80位まで)

順	国名	労働生産性	順	国名	労働生産性
1	ルクセンブルク	114,332	41	ポーランド	40,110
2	ブルネイ	109,469	42	リトアニア	39,229
3	ノルウェー	102,955	43	レバノン	38,808
4	米国	94,157	44	南アフリカ	35,317
5	アイルランド	92,682	45	ラトビア	35,274
6	マカオ	89,995	46	チリ	35,025
7	シンガポール	87,688	47	メキシコ	34,896
8	ベルギー	84,119	48	ボスニア・ヘルツェゴヴィナ	34,461
9	香港	84,115	49	マレーシア	34,058
10	フランス	81,597	50	マケドニア	32,425
11	イタリア	77,606	51	イラン	30,508
12	オーストリア	77,149	52	パナマ	30,104
13	カナダ	74,716	53	ロシア	29,580
14	オランダ	74,556	54	ベネズエラ	29,072
15	ドイツ	74,313	55	ルーマニア	28,495
16	スウェーデン	73,958	56	セルビア	28,485
17	英国	73,642	57	フィジー	27,876
18	フィンランド	72,662	58	モーリシャス	27,194
19	デンマーク	71,030	59	ブルガリア	26,427
20	ギリシャ	70,623	60	ウルグアイ	25,747
21	イスラエル	70,448	61	コスタリカ	25,124
22	スペイン	69,576	62	ベラルーシ	23,758
23	スイス	69,561	63	コロンビア	22,119
24	オーストラリア	69,295	64	カザフスタン	22,042
25	サウジアラビア	67,192	65	ドミニカ共和国	21,161
26	日本	67,018	66	ブラジル	20,281
27	アイスランド	62,704	67	エジプト	18,583
28	マルタ	60,728	68	ジャマイカ	17,558
29	キプロス	56,056	69	アゼルバイジャン	16,741
30	韓国	55,487	70	ペルー	16,349
31	スロベニア	54,317	71	アルメニア	15,540
32	ニュージーランド	53,389	72	ウクライナ	15,424
33	チェコ	50,391	73	サモア	15,308
34	トリニダード・トバゴ	48,435	74	タイ	13,663
35	ハンガリー	48,148	75	モロッコ	12,555
36	ポルトガル	46,714	76	スリランカ	12,059
37	クロアチア	45,989	77	グルジア	12,032
38	スロバキア	45,966	78	ブータン	10,245
39	トルコ	45,039	79	パラグアイ	9,989
40	エストニア	41,687	80	中国	9,218

単位は購買力平価換算USドル(世界銀行換算レート)



(付表1)OECD加盟国の労働生産性(2005~2008年)・実質労働生産性上昇率

	2005		2006		2007		2008	
1	ルクセンブルク	103,414	ルクセンブルク	112,777	ルクセンブルク	118,535	ルクセンブルク	116,627
2	ノルウェー	95,546	ノルウェー	102,845	ノルウェー	102,971	ノルウェー	110,347
3	米国	88,758	米国	92,339	米国	95,934	米国	98,853
4	アイルランド	83,065	アイルランド	87,710	アイルランド	92,928	アイルランド	88,355
5	ベルギー	78,689	ベルギー	82,460	ベルギー	85,166	ベルギー	83,531
6	フランス	73,157	フランス	75,971	フランス	79,476	フランス	80,345
7	イタリア	73,107	イタリア	75,544	イタリア	78,080	イタリア	79,000
8	オーストリア	71,854	オーストリア	74,010	オーストリア	76,615	オランダ	78,953
9	ドイツ	70,932	オランダ	73,148	オランダ	75,772	オーストリア	77,184
10	オランダ	70,311	カナダ	72,751	オーストラリア	75,027	オーストラリア	76,658
11	カナダ	69,691	ドイツ	72,718	カナダ	74,998	カナダ	75,780
12	オーストラリア	69,346	スウェーデン	72,085	英国	74,477	ドイツ	75,767
13	英国	68,683	オーストラリア	72,061	ドイツ	74,448	スウェーデン	74,886
14	スウェーデン	68,421	英国	71,500	スウェーデン	73,797	英国	74,627
15	フィンランド	66,390	フィンランド	69,576	フィンランド	73,028	スイス	73,943
16	デンマーク	65,845	デンマーク	68,028	スイス	71,153	フィンランド	73,509
17	アイスランド	64,252	スイス	67,330	デンマーク	70,680	スペイン	71,438
18	スイス	63,350	スペイン	66,002	ギリシャ	69,848	ギリシャ	70,694
19	スペイン	62,616	ギリシャ	65,986	スペイン	69,767	デンマーク	70,616
20	ギリシャ	62,439	日本	63,941	日本	66,960	日本	68,219
21	日本	60,932	アイスランド	63,012	アイスランド	63,783	アイスランド	65,271
22	ニュージーランド	49,405	韓国	51,604	韓国	55,487	韓国	57,599
23	韓国	47,985	ニュージーランド	51,230	ニュージーランド	53,002	ニュージーランド	52,678
24	ハンガリー	43,833	チェコ	46,807	チェコ	50,466	チェコ	51,279
25	チェコ	43,752	ハンガリー	46,151	ハンガリー	48,013	ハンガリー	49,868
26	ポルトガル	42,540	ポルトガル	44,426	ポルトガル	46,798	スロバキア	49,046
27	スロバキア	39,280	スロバキア	42,211	スロバキア	45,966	ポルトガル	47,335
28	ポーランド	37,118	ポーランド	38,637	トルコ	44,487	トルコ	45,954
29	トルコ	34,651	トルコ	38,594	ポーランド	40,160	ポーランド	42,514
30	メキシコ	31,984	メキシコ	33,492	メキシコ	34,891	メキシコ	35,322
	OECD平均	66,825	OECD平均	69,767	OECD平均	72,890	OECD平均	74,375

	1989~1993年平均		1994~1998年平均		1999~2003年平均		2004~2008年平均	
1	トルコ	5.61%	ポーランド	5.13%	ポーランド	4.83%	トルコ	5.88%
2	韓国	5.20%	トルコ	4.01%	トルコ	4.05%	スロバキア	4.99%
3	ノルウェー	3.41%	アイルランド	4.01%	ハンガリー	3.75%	チェコ	3.96%
4	アイルランド	2.46%	ハンガリー	3.42%	アイルランド	3.41%	韓国	2.96%
5	スペイン	2.42%	韓国	3.18%	スロバキア	3.33%	ハンガリー	2.54%
6	スウェーデン	2.01%	フィンランド	2.77%	韓国	3.30%	ポーランド	1.88%
7	オーストラリア	1.93%	オーストリア	2.74%	チェコ	3.07%	ギリシャ	1.85%
8	フィンランド	1.92%	スウェーデン	2.59%	ギリシャ	2.98%	フィンランド	1.49%
9	英国	1.87%	チェコ	2.40%	アイスランド	2.09%	オランダ	1.26%
10	ポルトガル	1.77%	オーストラリア	2.27%	フィンランド	2.04%	米国	1.25%
11	ルクセンブルク	1.73%	米国	2.17%	英国	1.88%	メキシコ	1.24%
12	デンマーク	1.73%	アイスランド	2.16%	ノルウェー	1.82%	日本	1.19%
13	イタリア	1.69%	英国	2.09%	日本	1.75%	スイス	0.99%
14	米国	1.44%	ポルトガル	1.84%	米国	1.60%	アイスランド	0.97%
15	ベルギー	1.33%	ノルウェー	1.77%	ニュージーランド	1.43%	英国	0.86%
16	フランス	1.20%	ドイツ	1.49%	スウェーデン	1.42%	フランス	0.79%
17	ニュージーランド	1.18%	イタリア	1.49%	オーストリア	1.41%	ポルトガル	0.66%
18	日本	1.12%	デンマーク	1.47%	デンマーク	1.40%	オーストリア	0.63%
19	オーストリア	0.72%	ベルギー	1.41%	ベルギー	1.38%	デンマーク	0.56%
20	カナダ	0.72%	カナダ	1.35%	ドイツ	1.35%	カナダ	0.46%
21	オランダ	0.44%	ギリシャ	1.31%	オーストラリア	1.22%	ベルギー	0.36%
22	ギリシャ	0.23%	フランス	1.27%	カナダ	0.82%	オーストラリア	0.30%
23	スイス	-1.14%	スイス	1.09%	ポルトガル	0.78%	スウェーデン	0.28%
24	アイスランド	-2.31%	オランダ	0.90%	メキシコ	0.74%	スペイン	0.04%
25	ドイツ	-3.66%	日本	0.80%	フランス	0.62%	アイルランド	0.01%
26			ルクセンブルク	0.63%	スイス	0.51%	ドイツ	0.01%
27			ニュージーランド	0.56%	ルクセンブルク	0.16%	ノルウェー	-0.05%
28			スペイン	0.18%	イタリア	-0.01%	ルクセンブルク	-0.06%
29			メキシコ	-0.32%	オランダ	-0.04%	ニュージーランド	-0.14%
30					スペイン	-0.33%	イタリア	-0.30%
	OECD平均	-0.96%	OECD平均	1.58%	OECD平均	1.56%	OECD平均	1.05%

- 1) 単位：購買力平価換算USドル
- 2) 資料：OECD, Stat 2009
- 3) 実質労働生産性上昇率：2000年基準実質購買力平価ベース年率平均値

(付表 2) OECD 加盟国・製造業の名目労働生産性(2004～2007年)

	2004		2005		2006		2007	
1	アイルランド	141,745	アイルランド	153,383	アイルランド	166,146	アイルランド	184,568
2	スイス	92,560	スイス	100,175	ノルウェー	112,875	ノルウェー	126,387
3	米国	89,758	ノルウェー	98,404	スイス	108,742	スイス	117,333
4	ノルウェー	87,859	スウェーデン	97,245	スウェーデン	106,688	スウェーデン	116,984
5	ルクセンブルク	87,094	米国	94,693	フィンランド	100,490	フィンランド	111,856
6	スウェーデン	86,099	ルクセンブルク	94,190	米国	98,671	ルクセンブルク	107,461
7	フィンランド	84,161	フィンランド	89,770	ルクセンブルク	95,376	米国	101,920
8	日本	79,133	日本	81,961	ベルギー	86,881	オーストリア	90,918
9	ベルギー	73,124	ベルギー	78,675	オランダ	82,470	ベルギー	90,654
10	オランダ	70,312	オランダ	76,735	デンマーク	81,394	オランダ	88,997
11	フランス	70,239	フランス	76,716	フランス	80,860	デンマーク	88,796
12	オーストリア	68,566	オーストリア	76,294	オーストリア	80,844	フランス	87,495
13	英国	67,967	ドイツ	71,296	日本	80,121	ドイツ	83,171
14	デンマーク	65,912	英国	70,940	ドイツ	77,105	日本	80,400
15	ドイツ	64,488	デンマーク	70,096	オーストラリア	74,952	オーストラリア	80,237
16	カナダ	64,426	オーストラリア	68,397	イタリア	64,680	イタリア	69,462
17	アイスランド	63,390	イタリア	61,091	スペイン	56,593	スペイン	62,195
18	オーストラリア	61,182	アイスランド	60,496	韓国	53,566	韓国	59,163
19	イタリア	57,130	スペイン	51,457	ギリシャ	46,457	ギリシャ	50,127
20	スペイン	47,444	韓国	48,883	ハンガリー	27,131	チェコ	30,246
21	ニュージーランド	46,793	ギリシャ	40,690	チェコ	25,332	ハンガリー	29,174
22	韓国	43,314	ポルトガル	24,280	ポルトガル	25,205	トルコ	25,858
23	ギリシャ	35,528	ハンガリー	23,604	トルコ	22,782	スロバキア	25,047
24	ポルトガル	22,315	チェコ	22,561	メキシコ	22,761	メキシコ	24,785
25	メキシコ	20,551	メキシコ	20,439	スロバキア	21,003	ポーランド	21,829
26	ハンガリー	20,396	トルコ	19,692	ポーランド	19,239		
27	チェコ	20,224	スロバキア	17,374				
28	トルコ	17,838	ポーランド	17,060				
29	ポーランド	15,888						
30	スロバキア	14,666						
	OECD平均	61,361	OECD平均	62,939	OECD平均	62,764	OECD平均	66,012

- 1) 単位：USドル(加重移動平均により平滑化した為替レートを用いて換算)
2) 資料：OECD .Stat 2009, Eurostat National Accounts by 31 branches

(付表3) 世界銀行等のデータによる実質労働生産性上昇率(2003～2007年)

2003-2007年							
	国名	グループ	労働生産性	順	国名	グループ	労働生産性
1	アゼルバイジャン	欧州中央ア	21.61%	51	日本	OECD高所得	1.91%
2	アルメニア	欧州中央ア	12.97%	52	デンマーク	OECD高所得	1.81%
3	グルジア	欧州中央ア	11.02%	53	スウェーデン	OECD高所得	1.76%
4	中国	東ア太平洋	10.33%	54	キルギス	欧州中央ア	1.68%
5	ベラルーシ	欧州中央ア	9.21%	55	米国	OECD高所得	1.67%
6	マカオ	他高所得	7.96%	56	ルクセンブルク	OECD高所得	1.65%
7	ベネズエラ	ラテンカリブ	7.94%	57	英国	OECD高所得	1.61%
8	トルコ	欧州中央ア	7.80%	58	イスラエル	他高所得	1.54%
9	ラトビア	欧州中央ア	7.49%	59	オランダ	OECD高所得	1.52%
10	モルドバ	欧州中央ア	7.46%	60	メキシコ	ラテンカリブ	1.49%
11	カザフスタン	欧州中央ア	7.32%	61	チリ	ラテンカリブ	1.45%
12	カンボジア	東ア太平洋	7.16%	62	ブラジル	ラテンカリブ	1.42%
13	ウクライナ	欧州中央ア	6.48%	63	アイルランド	OECD高所得	1.38%
14	モンゴル	東ア太平洋	6.46%	64	フランス	OECD高所得	1.37%
15	スリランカ	南アジア	6.42%	65	スイス	OECD高所得	1.34%
16	リトアニア	欧州中央ア	6.25%	66	ノルウェー	OECD高所得	1.29%
17	ルーマニア	欧州中央ア	6.23%	67	南アフリカ	サハラ以南	1.27%
18	ベトナム	東ア太平洋	5.96%	68	オーストリア	OECD高所得	1.25%
19	エストニア	欧州中央ア	5.72%	69	マルタ	中東北アフ	1.21%
20	ロシア	欧州中央ア	5.65%	70	カナダ	OECD高所得	1.02%
21	コロンビア	ラテンカリブ	5.54%	71	エジプト	中東北アフ	0.93%
22	スロバキア	欧州中央ア	5.49%	72	ポルトガル	OECD高所得	0.90%
23	香港	他高所得	4.90%	73	パラグアイ	ラテンカリブ	0.80%
24	ウズベキスタン	欧州中央ア	4.87%	74	ベルギー	OECD高所得	0.73%
25	チェコ	欧州中央ア	4.85%	75	オーストラリア	OECD高所得	0.60%
26	タジキスタン	欧州中央ア	4.52%	76	キプロス	他高所得	0.44%
27	パナマ	ラテンカリブ	4.50%	77	ニュージーランド	OECD高所得	0.29%
28	トリニダード・トバゴ	ラテンカリブ	4.35%	78	ドイツ	OECD高所得	0.27%
29	マレーシア	東ア太平洋	4.34%	79	イタリア	OECD高所得	0.14%
30	インドネシア	東ア太平洋	4.31%	80	スペイン	OECD高所得	-0.49%
31	ペルー	ラテンカリブ	3.88%	81	ジャマイカ	ラテンカリブ	-0.92%
32	ドミニカ共和国	ラテンカリブ	3.73%	82	フィジー	東ア太平洋	-1.14%
33	タイ	東ア太平洋	3.48%	83	ウルグアイ	ラテンカリブ	-1.68%
34	フィリピン	東ア太平洋	3.46%	84	ブルネイ	他高所得	-2.56%
35	クオアチア	欧州中央ア	3.46%				
36	ハンガリー	欧州中央ア	3.41%				
37	韓国	OECD高所得	3.24%				
38	モーリシャス	サハラ以南	3.21%				
39	ブータン	南アジア	3.05%				
40	サモア	東ア太平洋	3.05%				
41	ブルガリア	欧州中央ア	2.85%				
42	ギリシャ	OECD高所得	2.78%				
43	アイスランド	OECD高所得	2.66%				
44	スロベニア	他高所得	2.62%				
45	フィンランド	OECD高所得	2.60%				
46	ポーランド	欧州中央ア	2.58%				
47	コスタリカ	ラテンカリブ	2.47%				
48	マケドニア	欧州中央ア	2.44%				
49	モロッコ	中東北アフ	2.16%				
50	パキスタン	南アジア	2.15%				

1) 単位：2000年基準実質購買力平価ベース・年率平均上昇率(%)

2) 資料：世界銀行 World Development Indicators 2009 Edition, OECD.Stat 2009, ADB Key Indicators 2009, ILO LABORSTA Database, その他

グループ：世界銀行が所得・地域的特性に基づいて分類した区分を使用。